

令和4年度 大阪府公立高等学校バレーボール大会 大会運営について

大阪府公立高校バレーボール大会実行委員会

運営方法は今大会に限ります。

1. 大会運営方針 ☆高体連同様、生徒の密集を極力避けるため

(1) 大会1, 2日目の開始式はしない。会場校は、当日、書面で各チームに会場使用の注意を指示する。最終日は、開始式を行う。

(2) 大会1日目

第1試合は、8:30/13:00開場 9:00/13:30プロトコール

練習は、試合前の2チームのみ

※ゾーンによって午前、午後と開始時間が異なるため、必ず抽選結果を確認すること。

※午後からの試合で、会場校の都合により13:00開場ではない場合は、会場校から各チームへ連絡が行われます。

大会2日目

第1試合は、8:30開場 9:00プロトコール

練習は、試合前の2チームのみ

(3) 第1試合の審判を、第2試合のチームとする。

(4) 全ての試合間を、15分とする。(換気～合同練習)

(5) 試合形式、対戦方法

一日目、地区予選リーグ戦

・3チームリーグ戦の場合

第1試合 1-2 (3) 第2試合 1-3 (2) 第3試合 2-3 (1)

・4チームトーナメント戦の場合

第1試合 1-4 (第2試合の両チーム)

第2試合 2-3 (第1試合の敗者)

第3試合 第1試合勝者 - 第2試合の勝者 (第2試合の敗者)

※いずれの場合も一位通過のみ翌日の中央トーナメントへ進出

2. 感染防止対策について ☆高体連バレーボール専門部HPの「感染防止ガイドライン」を確認

(1) 大会参加者について (以下のメンバー以外は、フロアへの入場禁止)

JVA一覧にある選手 (3年生も可)、生徒マネージャー、スタッフ3名 (監督・コーチ・マネージャー)

※コーチは当該校教職員かコーチ登録された人。

※大会参加確認書① (高体連バレーボール専門部HPよりダウンロード) を提出すること。

(2) 観客について

(1) の大会参加者を除き、1, 2日目は各チーム最大15人、(会場校で制限がある場合はそれを優先)、最終日は各チーム最大30名のチーム関係者の入場を許可。大会参加確認書② (高体連バレーボール専門部HPよりダウンロード) を提出すること。

(3) 審判は電子ホイッスルで行うこと。また、応援の発声は控えること。

3. 感染者（PCR検査陽性）が出で休校になった場合の措置について

当該チームは棄権となる。試合途中で判明した場合、没収試合となる。休校が判明したら、できるだけ早く会場校と各地区責任者に連絡を行うこと。

※会場校が休校になった場合

①事前に判明していた場合

- ・会場校は棄権、試合会場は別の学校へ変更する。この場合、午後の試合となる。

②試合途中で判明した場合

- ・1日目の最終試合で、会場校でないチーム同士が試合途中であった場合、その試合は最後まで行い勝敗をつけること。
- ・2日目の最終試合の試合途中である場合、その試合は最後まで行い勝敗をつけること。

4. その他

- ・この大会ではJVA加入選手一覧の提出は必要ありません。本部へは大会参加確認書①、②（高体連バレーボール専門部HPよりダウンロード）を提出してください。
- ・感染拡大状況によって、大会の実施方法を変更したり、大会を中止したりすることがあります。
- ・最終日の会場は、決定後に高体連HPにて掲載します。

5. 大会事務局

<大会実行委員長>	府立登美丘高校	益永 鉄平
<各地区責任者>	東地区	榎木 貢（枚方高校）
	西地区	藤永 祐嗣（和泉高校）
	南地区	池田 輝政（狭山高校）
	北地区	西岡 亮太（西野田工科高校）